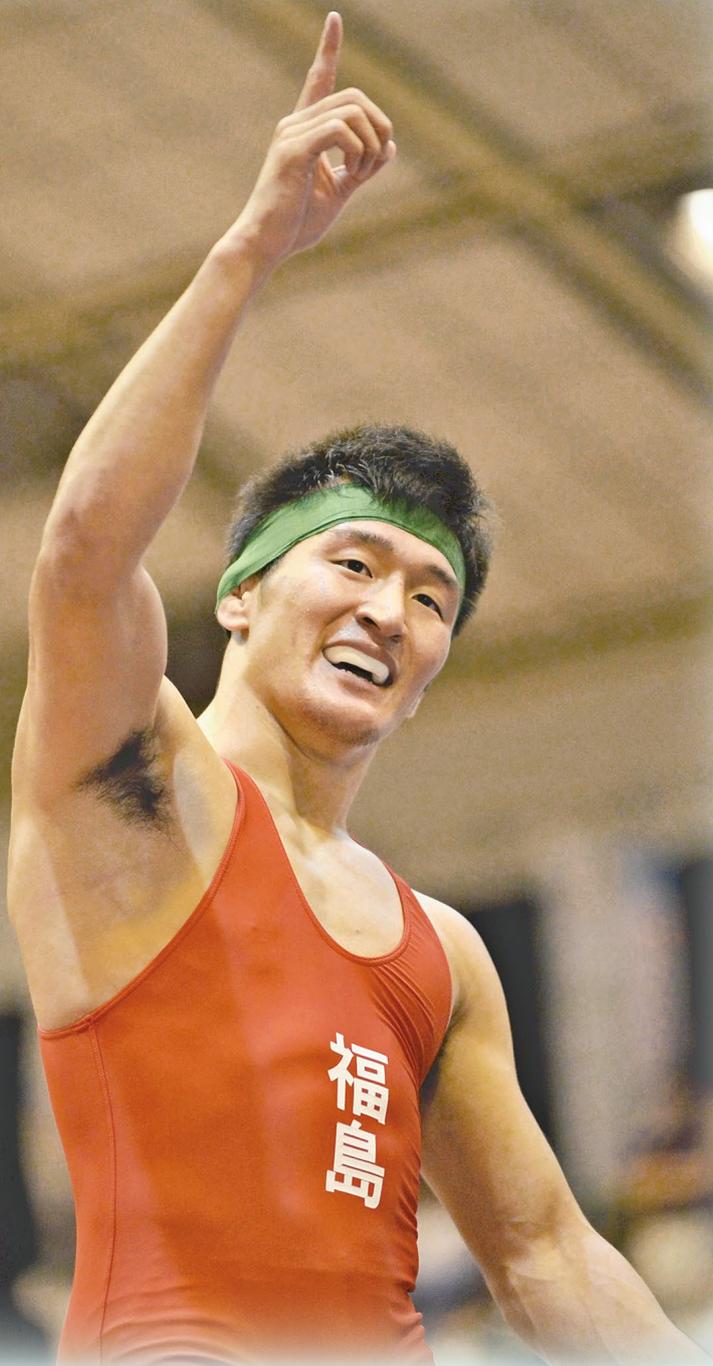


# Sports Fukushima

スポーツふくしま

40  
2018.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館  
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!  
Let's play sports together!

# 巻頭言

## Good Fellow ～いい奴、いい仲間～

このたび本協会顧問でもあります宗形守敏氏が、平成30年度の「県文化功労賞（体育部門：スポーツ分野）」を受賞されました。心からお祝いを申し上げます。

宗形氏は平成25年、福島県体育協会が財団法人から公益財団法人に移行した際に会長に就任いたしました。それまでは会長職はおよそ知事が務めて参りましたが、民間の方が会長職に就いたのは宗形氏が初めてのことでした。公益財団発足当時、私も一緒に仕事をさせていただきましたが、その温かな人柄とスケールの大きさ、そして何よりもスポーツに対してすばらしい情熱をお持ちである方ということを実感した次第であります。

皆さんも御承知のように、宗形氏は福島市の企業に女子ハンドボール部を創設し全国の強豪チームに育て上げ、県ハンドボール協会会長を長年歴任しながら競技の発展に大きく貢献されました。また本協会会長就任後も、企業人としての経験から、幅広い視野やアイデアを持ち、その力を存分に発揮されました。特に就任当時は、東日本大震災直後であり、風評の払拭やスポーツを行う環境の整備、そして子供たちの体力低下等の諸課題が多くある中、「県民に思い切りスポーツをしてもらう、そしてスポーツを通して福島を元気に！」という強い信念を全面に出して「チームふくしま」の陣頭指揮を執っていらっしゃいました。今回の受賞は、スポーツの楽しさやすばらしさを知っている宗形氏の熱意の賜と感じて止みません。改めて本県のスポーツの振興並びに本協会発展に御尽力賜りましたことに対し感謝申し上げますとともに、ますますの御活躍と更なる御指導をお願いするところであります。

さて、2年後に開かれる東京オリンピック・パラリンピックを前に、今スポーツ界に様々な注目が集まっています。今回は1964年に行われ、あれから56年の歳月を経て2度目の東京大会となります。この間、人々のスポーツへの取り組みや関心も大きく変化して参りま

した。トップアスリートやプロスポーツ選手だけではなく、子どもから高齢者までスポーツに親しみ、その目的は競技力の向上（自己の可能性の追求）から、健康の保持増進や体力づくり（生涯スポーツ）まで多岐に渡っており、スポーツを行う人口は増加の一途であります。また、「する・みる・ささえる」という個人のライフスタイルに応じたスポーツへの参画の手段も多様化され、「スポーツ文化」という言葉まで出現しました。「スポーツを通して、青少年の健全育成が図られ、極限の可能性を追求する営みにより人々が感動し地域社会に活力を見だし、心身両面に渡る健康の保持増進が図られ、人々が相互理解を一層深め平和な生活が送られる」これがスポーツ庁が掲げている、スポーツ振興に求める理想像なのかと考えます。

しかし、今年度に入ってから続々と報じられた、我が国のスポーツ界を揺るがすような反則行為、パワハラ、セクハラ、各競技団体の不正等は、肅然としてあるスポーツ界の裏の部分の表面化され、どれも我が国が築き上げてきたスポーツ文化の誇りを傷つけるような出来事でした。文化は伝統の継承だけではなく、人間がそれぞれの時代や社会背景に合わせ、特にスポーツなどはルールや目的を変えながら発展させてきた流れがあります。競技スポーツのみならず、昨今のスポーツ全体に対するニーズの高まりに応えるためには、相手や審判を尊重し、ルールを守り、組織の管理者も指導者も選手も互いに「Good Fellow（いい奴、いい仲間）」でなければならない事を、2度目の東京大会を前にもう一度考える時期が来たのかもしれない。

結びに、一人でも多くの本県選手が日の丸を背負い東京大会に出場し、表彰台に上ることを大いに期待いたします。



公益財団法人 福島県体育協会  
副会長 廣瀬 敬彦

P1 巻頭言

P2 第73回 国民体育大会成績  
第73回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

P9 生涯スポーツキャンペーン2018  
親子体操教室・指導者養成講習会 (in須賀川市)

P10 3年目に突入!あそんで体力アップアップ事業

P11 ふくしまから世界へ!「ふくしまJアスリート」強化支援事業

P13 認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会・  
認定アスレティックトレーナー養成講習会

P14 公認アシスタントマネジャー養成講習会

P15 各種団体連携事業

P16 NPO法人かわまたスポーツクラブ

P17 日米対抗ソフトボール2018&ソフトボール女子  
TOP日本代表強化合宿

東京2020オリンピック・パラリンピック  
復興ふくしま推進会議&ふくしま大交流ミーティング

P18 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】

第73回国民体育大会(①・②・③写真提供:福島民友新聞掲載)

①左:レスリング競技(河名真寿斗選手)

②右上:陸上競技(山下航平選手)

③右中央:ソフトテニス競技(森合弥代選手、大槻麗選手)

④右下:ソフトボール競技(成年男子チーム)

も

く

じ



(福島民友新聞掲載)

## 第73回 国民体育大会成績

### 1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー 競技会	H30.1/28(日) ~2/1(木)	富士吉田市 甲府市 横浜市	佐藤 憲保	2	11	4	40	55
	スキー 競技会	H30.2/25(日) ~2/28(水)	新潟県 妙高市	鈴木 安一	1	9	3	41	53
本大会		H30.9/29(土) ~10/9(火)	福井県 福井市 他	須佐 喜夫	34	18	62	330	410
		会期前競技:9/9(日)~17(月) 自転車競技:9/25(火)~29(土)							

### 2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		16点	10点	26点	21位	10点	10点	20点	20位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	-	-	-	-
スキー競技会		5点	10点	15点	16位	0点	10点	10点	16位
本大会		233点	370点	603点	43位	52点	330点	382点	44位
合計		254点	400点	654点	44位	62点	350点	412点	45位

## 第73回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

◆陸上競技 競技得点 30点 天皇杯 30位 皇后杯 32位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	三段跳	5	4	山下 航平	ANA
	800m	5	4	田母神 一喜	中央大学 3年
	やり投	7	2	西山 忠宏	新潟大学 4年
成年女子	400m	3	6	武石この実	東邦銀行
	400mH	4	5	青木 沙弥佳	東邦銀行
少年男子共通	800m	5	4	安倍 優紀	清陵情報高等学校 2年
少年男子A	5000m	5	4	櫛田 佳希	学法石川高等学校 3年
成年少年男子共通	400mR	8	1	池田 和史	磐城高等学校 1年
				山下 潤	筑波大学 3年
				山下 航平	ANA
				秋山 優希	日大東北高等学校 2年



陸上競技 武石この実選手(福島民友新聞掲載)

◆水泳競技 競技得点 4点 天皇杯 38位 皇后杯 36位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子A	400m個人メドレー	6	3	岩崎幹大	日大東北高等学校 2年
少年女子B	100m背泳ぎ	8	1	安達光	日大東北高等学校 1年



水泳 岩崎幹大選手

◆ソフトボール競技 競技得点 20点 天皇杯 14位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	20	星野嵩幸	福島県商工信用組合
				岡部樹晃	日本体育大学 2年
				佐藤輝	ホンダエンジニアリング株式会社
				塩沼泰成	郡山市立宮城小学校(教)
				平井恭史郎	協和ボーリング株式会社
				今泉信吾	新地町立尚英中学校(教)
				本田拓史	株式会社CKF
				渡辺智範	福島県商工信用組合
				大河原維章	株式会社大宗建設工業
				大野光貴	大野工業株式会社
				瀬戸史弥	飯野鉄工株式会社
				荒川成人	荒川材木店株式会社



ソフトボール 成年男子

## 福井国体をふりかえって

ソフトボール競技 成年男子監督 尾形 忠彦

平成最後の国体は、開催地である福井県に延長戦で勝利し、日本代表選手を擁する大阪府に敗北はしたものの、4点差を振り出しに戻す粘り強さを見ることができました。15年ぶりに成年男子の監督に戻ってきた私を、選手たちは最後まで信じて戦ってくれました。

昨年度までは壮年でソフトボールをやっていましたが、今年は国体チームの母体となるクラブチームの監督を務めました。例年ではクラブ選手権や総合選手権の全国大会出場を目標に掲げて、活動していましたが、今年はクラブも総合も東北大会で敗北し、出場することができませんでした。しかし、選手たちの頑張りによって、シーズン最後の全国大会である国体の切符を掴み、さらには格上のチームと渡り合うことができました。選手たちは福島県のソフトボール関係者に大きな希望を与えてくれたと感じています。

今大会は初戦から開催地である福井県との試合でした。その組み合わせを見た瞬間に、私は平成7年の第50回国体「ふくしま国体」を思い出しました。あの時私は、福島県成年男子の選手としてプレーしていました。開催地のチームにのしかかる「勝たなければならない」というプレッシャー。それによって敗北してしまったことも鮮明に蘇りました。

今回の福井県チームの境遇も恐らく似たようなものだなと感じながら、同じ轍は踏むまいと選手たちには「試合を楽しむ」ということだけを伝えました。楽しく試合をして勝つ、というのは実現できれば理想的です。そのために今年は選手同士で、時には1対1で話すなど、コミュニケーションの機会を多く作り、チーム力の向上を図りました。また、選手それぞれが異なる職、家庭を持っていることも考慮しながら、平日でも行える最低限のトレーニング（打者であれば素振り、投手であれば走り込みなど）を継続するよう、選手に伝えました。その結果、厳しい局面でも励まし合いながら乗り切る粘り強さのできたのだと思います。

私は気持ちの面でのアドバイスや、プレー中の考え方、トレーニング継続の呼びかけなどの言葉かけを行うのみでしたが、選手たちはその言葉をきちんと受け入れ、実践し、結果を出してくれました。福井県に勝った試合も、大阪府に敗れた試合も、選手たちの顔には確かな達成感と充実感がありました。そして帰る頃には、これまでの「全国大会出場」という目標が「全国で何勝するか」というものになっていました。

今年は若い選手も入ったため、まだまだ発展途上の成年男子ソフトボールです。来年度は今年度以上の活躍ができるよう、選手たちをサポートしていきたいと思っています。



岡部樹晃選手

尾形忠彦監督

◆ボクシング競技 競技得点 2.5点 天皇杯 27位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ウェルター級	5	2.5	五ノ井一幸	中央大学 3年



ボクシング 五ノ井一幸選手

◆ソフトテニス競技 競技得点 20点 天皇杯 16位 皇后杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	20	大槻 麗	住友ゴム工業(株)
				濱谷 杏奈	住友ゴム工業(株)
				森合 弥代	住友ゴム工業(株)
				小山 舞	早稲田大学 3年
				鈴木 梨沙	明治大学 3年



ソフトテニス 成年女子

◆馬術競技 競技得点 20点 天皇杯 15位 皇后杯 20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	馬場馬術競技	6	3	杉本 隆雄	Stable FEDERA
	自由演技馬場馬術競技	5	4	杉本 隆雄	Stable FEDERA
成年女子	馬場馬術競技	7	2	杉本 晃美	Stable FEDERA
少年	二段階障害飛越競技	3	6	柴田 祐紀	岩瀬農業高等学校 3年
				柴田 祐紀	岩瀬農業高等学校 3年
	団体障害飛越競技	4	5	若狭 椎奈	相馬農業高等学校 3年
				斉藤 一成	福島商業高等学校 3年



馬術 少年男子(福島民友新聞掲載)

◆バレーボール競技 競技得点 10.5点 天皇杯 24位 皇后杯 20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
男子	ビーチバレー	5	10.5	加藤 修吾 紺野 真幹	有限会社加藤測量設計 有限会社廣瀬製作所



バレーボール ビーチバレー男子

## 強風の中で意地の5位入賞

バレーボール競技 ビーチバレーボール 有限会社加藤測量設計 加藤 修吾

「福井しあわせ元気国体」バレーボール競技のビーチバレーボール種目において、第5位入賞という成績を収めることができました。県体育協会や県バレーボール協会をはじめ、理解ある家族、監督そしてパートナーの紺野君にとっても感謝しております。

日本ではまだマイナー競技のビーチバレーですが、オリンピック正式種目となり、今ではオリンピックの種目の中でもトップレベルの観客動員を誇る競技となっています。昨年の東北総体では台風の影響で大会が中止となり、JBVランキングポイントにより国体出場権が決定されるため、ポイントを持っていなかった私たちは出場権を得ることができず、とても悔しい思いをしました。そのため今年の福井国体にかかる気持ちはとても強く、今までのビーチバレー人生の中で一番と言っていいくらい、試合に臨む準備を整えました。

12年前に紺野君と一緒にビーチバレーを始め、震災前はジャパンツアーに参加して競技力向上に努めていましたが、震災後はビーチバレーどころではなく、競技から離れた時期もありました。今回の国体では、男子出場選手の中で平均年齢が一番の高齢(ベテラン)でした。私たちは年を重ねるにつれ、若い時にはできていた強打や瞬発力を生かしたディフェンスがだんだんできなくなりましたが、ビーチバレーは若さ・パワーだけではなく、経験・風を生かした戦術などを駆使し、勝利を掴むことのできる面白みがある競技です。まさに今回の国体での5位・7位決定戦の試合は、強風の中、その経験・戦術が生かされた勝利だったと思います。選手寿命の長い競技でもありますので、若者に負けぬように楽しみながらこれからも競技を続けていきたいと思っております。

来年度からは少年種別に変更になるため、私たちの持ちうる知識を高校生に伝えていきます。さらに、福島県のビーチバレーの競技人口増加とレベルアップに貢献し、結果に繋がるよう指導普及にも力を入れていきたいとも思っていますので、今後も皆様の御協力、御声援をよろしくお願いいたします。



小針幸雄監督 加藤修吾選手 紺野真幹選手

## 第73回 国体本大会競技別成績・活躍選手と監督の寄稿

◆カヌー競技 競技得点 6点 天皇杯 36位 皇后杯 32位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	SP K-1 500m	3	6	青木 瑞樹	安達高等学校 1年

◆サッカー競技 競技得点 20点 天皇杯 11位 皇后杯 9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	遠藤 成矩	いわき総合高等学校 1年
				鷹取 聖	尚志高等学校 1年
				大津 平嗣	学法石川高等学校 1年
				渡邊 光陽	尚志高等学校 1年
				齋藤 慧	福島工業高等学校 2年
				島野 輝	尚志高等学校 1年
				藤原 秀斗	福島東高等学校 1年
				石塚 峻太	尚志高等学校 2年
				木村 快	尚志高等学校 1年
				佐々木 成也	尚志高等学校 2年
				清水 大成	学法石川高等学校 2年
				菅野 稜斗	尚志高等学校 1年
				山口 颯真	尚志高等学校 1年
				平田 晴也	尚志高等学校 1年
				千田 和廣	郡山市立明健中学校 3年
佐藤 吏恩	尚志高等学校 1年				



カヌー 青木瑞樹選手(福島民友新聞掲載)



サッカー 少年男子

### 福井国体 5 位入賞

サッカー競技 少年男子監督 佐原 明良

サッカー福島県少年男子は、第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」に出場し、5位入賞を果たすことができました。

東北総体に向けて「福井国体への出場枠を勝ち取る」を目標に準備を進めてきました。東北総体の組み合わせを決める東北トレセンマッチを5位で終えていたことで、厳しい戦いになることが予想されましたが、選手たちの粘り強い戦いで、見事に福井国体の出場枠を獲得することができました。出場を決める岩手県との代表決定戦では、連戦の疲労を感じさせない熱いプレーで延長後半アディショナルタイムに得点を奪い、劇的な勝利で国体出場枠をつかみ取ることができました。

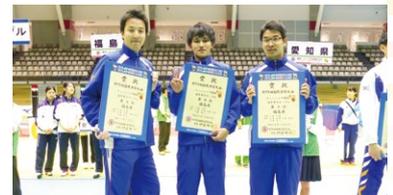
福井国体への出場枠を獲得して、新たに掲げた目標は「東京国体4位以上の成績を残す」でした。5年前の東京国体では福島県少年男子が4位入賞という成績でした。福島県少年男子が数年勝てていなかった初戦を突破し、その先の上位入賞を目指すことを目標として国体へ臨みました。初戦は愛媛県。押し込まれる場面もありましたが、高い集中力を保った守備から効果的に得点を奪い、3-1で勝利。初戦を5年ぶりに突破しました。目標としていたベスト4をかけた準々決勝の相手は埼玉県でした。1-1で迎えた後半アディショナルタイムに追加点を与え、1-2で敗れて福島県少年男子の福井国体が終わりました。敗れはしたものの、その後優勝した埼玉県を最後の最後まで追い詰めた選手たちの奮闘は素晴らしく、福島県の代表として覚悟と責任を持って戦う素晴らしいチームでした。

「アディショナルタイムで国体出場を決め、アディショナルタイムで国体が終わる」というサッカーの難しさを感じる貴重な経験でした。そして、全国を肌で感じ、全国で勝つための課題が明確になりました。この経験を今後の福島県の競技力向上のために生かしていきたいと思えます。最後になりましたが、福井国体5位入賞という結果が得られたのは選手の努力はもちろん、携わってくださった全ての皆様のおかげです。たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。



◆フェンシング競技 競技得点 3点 天皇杯 13位 皇后杯 16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	サーブル	8	3	佐藤直輝	川俣町役場
				佐藤篤志	福島高等学校(教)
				佐藤真春	福島キャンノン株式会社



フェンシング 佐藤篤志選手、佐藤真春選手、佐藤直輝選手

◆空手道競技 競技得点 2.5点 天皇杯 28位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	個人組手	5	2.5	鈴木晃成	学法福島高等学校 3年



空手道 鈴木晃成選手

◆ウェイトリフティング競技 競技得点 18点 天皇杯 30位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級 スナッチ	6	3	吉田真弘	デイスサービスセンターいしかわ
	53kg級 C&J	7	2	吉田真弘	デイスサービスセンターいしかわ
	77kg級 スナッチ	3	6	近内三孝	自衛隊体育学校
	77kg級 C&J	5	4	近内三孝	自衛隊体育学校
少年男子	69kg級 C&J	6	3	内藤武蔵	田村高等学校 2年



ウェイトリフティング 近内三孝選手(福島民友新聞掲載)

◆レスリング競技 競技得点 13.5点 天皇杯 34位 皇后杯 45位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマンスタイル67kg級	1	8	河名真寿斗	クリナップ株式会社
	グレコローマンスタイル97kg級	3	5.5	渡部友章	ふたば未来学園高等学校(教)



レスリング 渡部友章選手(福島民友新聞掲載)

## 福井しあわせ元気国体を終えて

### レスリング競技 クリナップ(株) 河名真寿斗

私は、昨年クリナップ株式会社に入社し、福島県代表として国民体育大会に出場させていただくことになりました。私にとって、国体は縁起の良い大会です。昨年の愛媛国体では、初優勝を経験し、翌月にポーランドで行われたU-23世界選手権での優勝へと繋げることができました。

今年は、自分にとってふがいない一年でした。6月の全日本選抜選手権では初戦敗退、その後の全日本社会人選手権でも優勝を逃しました。気持ちと体の動きが噛み合わず、勝ち方が分からなくなっていました。自分を見つめ直すために、福島県のスポーツ交流事業の一環として、9月にポーランドへ武者修行に行かせていただきました。全日本選抜選手権までは60kg級に出場していましたが、国民体育大会は67kg級で出場することを見据えて、主に67kg級の選手とトレーニングを行いました。欧州の選手は日本の選手に比べ、前に出る力や、寝技で相手を持ち上げる力が強いです。その力を受け流しながら、相手の隙をついて技を仕掛けるように心がけ、自分が理想としている戦い方を身につけることができました。

今回の国体では、寝技の失点を最小限に抑え、後半に相手の体力が落ちてきた隙を狙って得点するという、武者修行の成果どおりの戦い方ができました。決勝戦では、必ずどこかで自分にチャンスが来ると信じて攻め続けた結果、ラスト2秒で逆転勝ちを収めることができました。大会二連覇を達成することができて本当に嬉しく思います。

この優勝は、普段練習して身につけた体力や技術だけでなく、福島県のために勝つという強い気持ちが導いてくれたものです。会社の看板を背負うだけでなく、県を代表して戦う国体は、自分にとって特別な気持ちになる大会です。様々な縁が繋がって、福島県の代表として戦えることに感謝の気持ちでいっぱいです。第二の故郷である福島県の方々に応援していただける選手になるために、福島県代表としての自覚と誇りを持ち、戦っていきます。そして、来年以降の国体、2020年の東京オリンピックでの優勝を目標にこれからも精進していきます。



河名真寿斗選手

◆山岳競技 競技得点 9点 天皇杯 19位 皇后杯 11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	リード	8	3	滝口 萌	郡山市立郡山第六中学校 3年
				林 あいり	湯本高等学校 1年
	ボルダリング	7	6	滝口 萌	郡山市立郡山第六中学校 3年
				林 あいり	湯本高等学校 1年



山岳 滝口萌選手・林あいり選手

◆ボート競技 競技得点 24点 天皇杯 16位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ダブルスカル	4	15	門馬 健将 久下 智士	会津高等学校 3年 湖南高等学校 3年
少年女子	ダブルスカル	6	9	神 杏奈 今泉 縁	田村高等学校 2年 田村高等学校 2年



ボート 神杏奈選手・今泉縁選手

## 福井国体を終えて

### ボート競技 少年男子監督 渡部 宗晴

第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体）ボート競技は、美浜町の久々子湖漕艇場で開催され、本県からは成年男子ダブルスカル（星 大地・法政大、蓮沼隆世・明治大）、少年女子ダブルスカル（神 杏奈・田村高、今泉 縁・田村高）、少年男子ダブルスカル（門馬健将・会津高、久下智士・湖南高）の3種目に参加しました。

成年男子ダブルスカルは、星選手が全日本軽量級選手権大会（5月）エイト種目で第3位入賞、蓮沼選手は全日本大学選手権大会（8月）舵手無フォア種目で優勝した実績を持つペアでしたが、所属の違いから合同練習の時間が十分に確保できず、現地では二人のタイミングを合わせることに苦労しながらの参戦となり、実力を発揮しきれず予選不通過の結果に止まりました。

女子ダブルスカル（田村高ペア）は、予選のゴールタイムからプラス1秒にピックアップされての予選通過でありましたが、この後からが単独校クルーの強みを大いに発揮し、予選のゴールタイムから予想できる順位を、良い意味で大きく裏切り、準決勝を勝ち上がり順位決定戦へと駒を進め、順位決定戦でも快漕を見せ、得点獲得に大いに貢献してくれました。この2人は2年生の若いペアながらも、国体という大舞台で覚醒し、来年シーズンの活躍が大いに期待できる選手へと成長してくれました。

最後に、監督を仰せ付けられました少年男子ダブルスカルについてです。門馬選手が全国高校総体（8月）シングルスカル種目で全国優勝を果たし、久下選手も大会の実績こそ恵まれてはいませんでしたが、体力レベルでは全国屈指の選手であり、この種目には、国体での活躍が期待されるのは必然でした。

予選の組合せは、全国高校総体の優勝ペアで参加した鳥取県、地元福井県、強豪東京都と大分県。台風24号の影響により敗者復活戦を行わない日程に短縮され、組3着までに入らなければ即敗退。反面、この組合せで勝ち上げれば入賞は確定できる程の実力伯仲の組合せだと予想しておりましたが、鳥取県、福井県に次いで僅差の3着でゴールし予選を通過しました。

準決勝では、この種目で2連覇を狙い、主力中の主力で編成した滋賀県との一騎打ちのレース展開となりましたが、相手のミスを誘う積極的なレース運びで決勝進出を見事引き寄せてくれました。

決勝は、予選で戦った福井県、鳥取県、福島県が再び顔を揃えることとなりました。前日の滋賀県とのデットヒートは、シーズン終盤のこの時期の選手にとってはダメージが大きかったようで、前半レースを引っぱる果敢な展開に持ち込みながらも後半艇速を伸ばせず4位入賞に止まってしまいました。自力のある選手たちであっただけに、関係者の落胆は隠せませんでした。このペアの編成に関しては、個人種目として福島県に貢献するか、チームとして福島県のために貢献するのか、関係者の中で些かの葛藤がありました。しかし結果を見れば、ダブルスカルは個人種目の3倍の得点設定であるため、4位ながらも得点獲得の面で考えれば、順位には満足ができないながらも、「勝負で負け、戦略で勝った」、福島県ボート協会が一丸となって挑んだ今国体の成果として評価をしています。

少年選手たちは、全国高校総体後休むことなく国体に向けた種目強化に本格的に取り組みました。その中で、選手それぞれが種目変更への対応に苦労しペアとして噛み合わず、ボートを漕ぐこと自体が故障を招く状況に何度となく歯痒さを覚えながらも、目標を見失わず努力を惜しまなかった選手たちには感謝したいです。

選手の皆さん、本当にありがとう。

末筆ながら、日頃より当協会に対します御理解と御支援を賜ります関係機関の方々へ感謝と共に、今後も変わらぬ御指導を賜りますようお願い申し上げます。



久下智士選手

門馬健将選手

## ◆自転車競技 競技得点 29点 天皇杯 10位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ポイントレース	6	3	風間翔真	東北学院大学 3年
男子	4kmチームパーシュート	6	9	緑川峻一	学法石川高等学校(教)
				角田光	日本大学 1年
				中村龍吉	学法石川高等学校 3年
				芹澤翔	平工業高等学校 2年
少年男子	ポイントレース	2	7	五十嵐綾	平工業高等学校 3年
	スクラッチ	6	3	中村龍吉	学法石川高等学校 3年
	個人ロードレース	2	7	中村龍吉	学法石川高等学校 3年



自転車競技 選手団

## ◆トライアスロン競技 競技得点 1点 天皇杯 10位 皇后杯 8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		8	1	石塚祥吾	日本食研ホールディングス



トライアスロン 石塚祥吾選手

## 福島県選抜として挑んだ3度目の全国

## ボート競技 会津高等学校 門馬 健将

湖南高校の久下君と編成されたダブルスカルでの第1戦は、国体の出場権をかけた東北総体でした。日頃は私がシングルスカル、久下君はフォドルプルで全国インターハイを目指して練習をしていたため、ダブルスカルの経験が少なく、編成当初は2人のタイミングだけでなくボートの動きすら感じ取ることができず、国体を目指すクルーとしては不安でした。しかし、2人は福島県を代表するトップ選手として選抜されていることを顧問の先生から聞かされていたので、その言葉を信じ、国体東北予選の決勝レース直前まで2人のボートを動かす感覚の統一に努めました。結果として東北第1代表で国体の出場権を得ることができました。

インターハイが終わり、国体本番に向けたダブルスカルでの練習が本格化し、東北総体で感じたタイミングのズレを徹底的に修正する日々が続きました。正直、苛立ちを感じたこともありましたが、「福島県を代表する2人」、この言葉の意味を噛み締める日々でもありました。

2人で力を併せるだけでは足りない、「1つになる」ために、強化合宿、強化練習、国体での宿舎、決勝レースの直前まで、言葉を交わし声を掛け合いました。日を追う毎にダブルスカル本来のスピードが出せるようになり、2人の間には「国体獲れる」、そんな気持ちで本番を迎えることができました。

予選は、地元福井県を筆頭に優勝候補が顔を揃える厳しい組合せでしたが、全国インターハイ優勝の鳥取県、地元福井県に次いで3着ながらも僅差であったことに手応えを感じることができました。また、準決勝に向けては更にスピードアップの必要性が課題として明確になりました。

迎えた準決勝、国体2連覇を狙う滋賀県との組合せとなりました。1着でゴールできなければ決勝には進めないため緊張はしましたが、相手の前評判を気にするよりも、予選の課題だったスタートのトップスピードを上げることに集中しレースに臨みました。

前半500mをトップで通過、後半に入り滋賀県の猛追をうけましたが、滋賀県にミスオールが出て、滋賀県は失速しました。相手のミスもありましたが、自分たちの漕ぎに徹したことが決勝進出を引き寄せることに繋がり、決勝に向け大きな自信となりました。一気に目の前の霧が晴れたような気分でした。

期間中は、台風の影響で競技日程が変更されるなど、荒れた天候の日もありましたが、高校生活最後のレースとなる決勝の朝は、スッキリと快晴で風も穏やかでした。昨夜、久下君とは「悔いのないレースをしよう。スタートから持てる力を残さず出し切り、オールアウトを目指そう。」と約束しました。したがって、作戦は昨日と同様にスタートから積極的なレース展開をすることでした。

「アテンション、ゴー！」

高校最後の発艇号令をうけ、僕たちは前半500mを福井県とコマ差で2着通過、後半福井県をかわせば自身2度目の全国制覇、早めのラストスパートを入れるも、思ったほどに艇速を伸ばすことができず、4着ゴールで国体を終えることとなりました。

表彰式では悔しい思いだけで賞状をいただきましたが、県内ではライバル関係にあり、絶対に負けたくない選手と1つになることを目指した時間は、何物にも代え難いものとなりました。福島県を代表する選手として叱咤激励いただいた顧問の先生方や福島県ボート協会の方々には、素晴らしい経験と思い出を与您いただき感謝申し上げます。

そして何よりも、久下君ありがとう。

国体が終わった今、日の丸をつけて一緒に漕ぐことが、次の2人の約束となりました。



久下智士選手

門馬健将選手

ひろみちお兄さんと楽しく体操しよう!

# 親子体操教室・指導者養成講習会

in  
須賀川

9月9日(日)、須賀川アリーナにおいて「体操のお兄さん」こと佐藤弘道さんを講師にお迎えし、生涯スポーツ2018「親子体操教室・指導者養成講習会」を開催しました。

今年で事業開始以来12回目を迎え、昨年に引き続き、親子体操教室と指導者養成講習会を午前と午後にかけて開催しました。親子体操教室には111組319名の親子、指導者養成講習会には幼児教育に携わる先生や、将来先生を目指す学生などから99名の申し込みがありました。また、ボランティアスタッフとして、幼稚園・保育園等の先生方や学生、さらには福島中央テレビの長江麻美アナウンサーにMCとしても協力していただき、大変スムーズに進めることができました。

親子体操教室・指導者養成講習会ともに、参加者のみなさんは終始笑顔で、有意義な時間を過ごすことができました。今後も本県の子供たちに、運動をすることがもっと好きになってもらえるよう、幼児体操の普及、指導者養成に力を入れていきたいと思っております。



## ★ 親子体操教室編

午前の親子体操教室では、音楽やひろみちお兄さんのかけ声に合わせて、リズムに乗った踊りやバランスをとりながら親子がふれあえる体操などを通じて、親子で協力して楽しく運動に取り組むことができました。参加者は、絶えず笑顔で元気よく体を動かし、あつという間の1時間を過ごしました。親子で楽しく運動をすることを通して、親子のふれあいを深めるとともに、体力向上や健康増進を図るとてもよい機会となりました。



## 指導者養成講習会編 ★

午後の指導者養成講習会では、ひろみちお兄さんのユーモアのある語りとテンポのよいプログラムによって、参加者一人一人が元気に活動し、たくさんの汗を流しました。参加者は、積極的に体を動かすことで、子供たちが遊びながら運動能力を向上させたり、運動への興味・関心を高めたりすることができる指導法を数多く学ぶことができました。



子供たちの  
体力向上を願って...

3年目に突入!

# あそんで体力アップアップ事業



## 幼児体操教室編

「あそんで体力アップアップ事業」の幼児体操教室は3年目に入り、今年度は相双地区、いわき地区、会津地区を中心に規模を拡大して実施しています。講師を引き受けていただく団体も1つ増えました。6月上旬より事業がスタートし、12月上旬までに39回の幼児体操教室を実施しました。今後、1月下旬まで合計41回の実施を予定しています。

本事業は未就学児を対象に、「幼児期において、遊びを中心とする身体活動を十分にを行い、多様な動きを身に付けながら体力の向上を図る」とともに、「生涯にわたって健康を維持し、何事にも積極的に取り組む意欲を育むなど、豊かな人生を送るための基盤づくりを進める」ことを目的として、以下の6つの団体を依頼のあった幼稚園等へ講師として派遣し、体操教室を実施しています。

これまで実施してきた幼児体操教室では、子供たちが普段の生活では経験できない、様々な運動を体験することができました。どの団体の活動でも、子供たち一人一人がたくさんの汗をかき、元気に楽しく運動できました。「楽しい!」「もっとやりたい!」等たくさんの子供たちの声が飛び交い、大盛況でした。

今後、この活動をきっかけに、日々の保育活動の中に体操を積極的に取り入れながら、園児の体力・運動能力の向上に継続して取り組んでいきたいと思っております。



講師を引き受けて  
いただいた団体

- ① **株式会社子ども体育研究所**  
手足を使った運動や投・跳運動、マット運動等
- ② **公益社団法人日本3B体操協会**  
用具を使った運動(ボール・ベル・ベルター)等
- ③ **特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会**  
忍者や変身ごっこ等の模倣運動等
- ④ **福島県エアロビック連盟**  
音楽に合わせて思いきり体を動かす運動等
- ⑤ **ダンススタジオViVid**  
今、流行の曲でHIPHOPを楽しく踊る運動等
- ⑥ **福島ファイヤーボンズチアダンススクール**  
ポンポンを持ってリズムに合わせて踊る運動  
(今年度新規参入)



## 指導者養成講習会編

「あそんで体力アップアップ事業」の指導者養成講習会は、昨年度より実施回数を増やし、相双地区、会津地区、いわき地区の3会場で開催しています。

7月21日(土)に千倉体育館(南相馬市)で開催された第1回指導者養成講習会には39名、12月1日(土)、あいづ総合体育館サブアリーナ(会津若松市)で開催された第2回指導者養成講習会には17名、2月2日(土)、新舞子体育館(いわき市)で開催を予定している第3回の指導者養成講習会には14名の申し込みがありました。

この講習会は、子供たちが遊びながら運動能力を向上させ、スポーツへの興味・関心を高めるために指導者自身のさらなる指導力向上を図る目的で行われています。講師には、子ども体育研究所郡山支部長の小林誠氏をお迎えし、それぞれの幼稚園で、すぐに実践できる運動遊びを取り入れた運動を数多く指導していただいています。

これまでに開催した指導者養成講習会では、受講者が積極的に体を動かし、他の先生方と交流を深めながら、実際の運動の仕方を体で習得しました。

幼稚園の先生方には、この講習会で学んだ知識や技能を日頃の指導に活かすとともに、本県の次世代を担う子供たちの体力向上のために、さらに指導力を高めてほしいと思っております。



第1回



第2回



# ふくしまから世界へ! 「ふくしまJアスリート」強化支援事業

「ふくしまJアスリート」とは、ふるさとに愛着心を持ち、ふるさとに勇気と希望を与え、オリンピックをはじめとする世界の舞台で活躍が期待される将来有望な選手の皆さんのことです。2020年の東京五輪開催決定を契機にスタートし、今年で5年目を迎える支援事業です。

## スタートダッシュミーティング

6月5日(火)に郡山商工会議所会館において、ふくしまから世界へ「ふくしまJアスリート」強化支援事業及びふくしまパラアスリート支援事業合同スタートダッシュミーティングを開催しました。

はじめに、指定証交付式を行い、「夢アスリート」を代表してカヌー競技の青木瑞樹選手、「Jクラスアスリート」を代表してトライアスロン競技の菊池日出子選手、そして、「パラアスリート」を代表して陸上競技の庭瀬ひかり選手に指定証を交付しました。

交付式の最後に、Jアスリートを代表して馬術競技の柴田祐紀選手と、パラアスリートを代表して陸上競技の佐々木真菜選手より、夢の実現に向けた力強い決意表明がありました。

指定証交付式の後は、プロテニスプレーヤーの藤岡希氏にアンチ・ドーピングの講話をしていただきました。次に、平昌オリンピックオリンピアン遠藤尚氏と、平昌パラリンピックパラリンピアン鈴木猛史氏から、「平昌に学ぶ」という題目でディスカッション形式の講演をしていただきました。最後に、東海大学大学院体育学研究科応用スポーツ心理学研究生の鮫嶋優樹氏に、「プラス思考トレーニングで育む自信とその維持」という演題で講義をしていただきました。

参加した「ふくしまJアスリート」と「ふくしまパラアスリート」は、この事業の目的を確認するとともに、自らの夢の実現に向けて、最高のスタートを切ることができました。



指定証交付(青木瑞樹&菊池日出子選手)



指定証交付(庭瀬ひかり選手)



決意表明(柴田祐紀選手)



決意表明(佐々木真菜選手)



講話(藤岡希氏)



講演(遠藤尚氏)



講演(鈴木猛史氏)



講義(鮫嶋優樹氏)

## ◆ふくしまJアスリート強化支援事業 夢アスリート一覧表

青木 りん 陸上競技	川野 健 バスケットボール	鶴岡 真人 バドミントン	杉山 薫 バドミントン
遠藤 日向 陸上競技	半澤 凌太 バスケットボール	李 正 バドミントン	武井 凜生 バドミントン
山内 大夢 陸上競技	仁平 菜月 バドミントン	千葉 美采 バドミントン	吉田 翼 バドミントン
山下 桐子 陸上競技	山澤 直貴 バドミントン	木村 百伽 バドミントン	小野 涼奈 バドミントン
半澤 黎斗 陸上競技	本田 大樹 バドミントン	安田 伊吹 バドミントン	今村 太陽 レスリング
瀧戸 皓斗 ソフトテニス	由良なぎさ バドミントン	内山 智尋 バドミントン	西沢 岳人 スキー
鈴木 智也 ソフトテニス	筑後 恵太 バドミントン	染谷菜々美 バドミントン	柴田 祐紀 馬術
齋藤 円空 ソフトテニス	久保田友之祐 バドミントン	山下 啓輔 バドミントン	宍戸 大輔 ウェイトリフティング
大内 悠生 ソフトテニス	永井 瀬霧 バドミントン	山浦 波瑠 バドミントン	安藤 千鈴 ウェイトリフティング
鈴木姫らら ハンドボール	高上 麟龍 バドミントン	杉浦 壮哉 バドミントン	平山 裕汰 フェンシング
岩永 宜久 卓球	高橋明日香 バドミントン	中静 朱里 バドミントン	平石 凜 カヌー
岩崎 幹大 水泳	金子 真大 バドミントン	廣上 瑠依 バドミントン	小山田香貴 カヌー
角田 光 自転車競技	山田 尚輝 バドミントン	稲光翔太郎 バドミントン	青木 瑞樹 カヌー
菊池 魁人 自転車競技	福本真恵七 バドミントン	末永 逸貴 バドミントン	長正 憲武 トライアスロン
中村 龍吉 自転車競技	廣澤 紫雲 バドミントン	荻原 聖也 バドミントン	
國分 翔麻 ライフル射撃	水井ひらり バドミントン	小林倫太郎 バドミントン	
水野 幹太 バスケットボール	佐藤 杏 バドミントン	田部 真唯 バドミントン	

◆ふくしまJアスリート強化支援事業 Jクラスアスリート一覧表

山下 潤 陸上競技	三橋 健也 バドミントン	松居圭一郎 バドミントン	大河内未来 ボウリング
渡部 佳朗 陸上競技	渡辺 勇大 バドミントン	齋藤 太一 バドミントン	鋤崎 隆也 トライアスロン
武石この実 陸上競技	大堀 彩 バドミントン	渡部 剛弘 スキー	阿部 有希 トライアスロン
紫村 仁美 陸上競技	古賀 穂 バドミントン	星野 純子 スキー	石塚 祥吾 トライアスロン
青木沙弥佳 陸上競技	東野 有紗 バドミントン	近内 三孝 ウェイトリフティング	菊池日出子 トライアスロン
大槻 麗 ソフトテニス	保木 卓朗 バドミントン	河名真寿斗 レスリング	
阿部 奎太 ハンドボール	小林 優吾 バドミントン	皆川 博恵 レスリング	
渡邊 歩 自転車競技	桃田 賢斗 バドミントン	佐々木陽菜 フェンシング	

◆ふくしまJアスリート強化支援事業 トップコーチ一覧表

西田 郁子 弓道	橋本 彰夫 卓球	柳沼 恵子 カヌー	櫻川 和 ハンドボール
松崎 法夫 ソフトテニス	新井まゆみ スキー	渡部 友章 レスリング	
水野 慎也 バasketボール	宮田 貴志 陸上競技	佐藤 大起 アイスホッケー	

「ふくしまJアスリート」ふれあい教室

地域の小中学生と「ふくしまJアスリート」が交流する「ふれあい教室」が8月4日(土)のカヌー競技(スラローム&ワイルドウォーター)をかわきりに開催しました。Jアスリートの質の高い技術を直接見ることで、大きな夢に向かうことの大切さや努力することの意味を交流の中から感じとり、自分の夢や目標、将来の希望につなぐとともに、自ら体を動かす習慣のきっかけづくりになりました。この他、トライアスロン競技、カヌー競技(スプリント)、ウェイトリフティング競技でも実施しました。



マルチサポート事業「メディカルチェック(前期)」

7月下旬から9月上旬の期間で、「ふくしまJアスリート」強化支援事業「メディカルチェック」前期の部を公立藤田総合病院において行いました。

7月30日(月)は、陸上競技で日本代表の経験がある東邦銀行の青木りん選手と武石この実選手が参加しました。整形外科のメディカルチェック、内科的メディカルチェック、コントロールテストなどを実施し、身体の状態を細部まで確認しました。また、管理栄養士からは食事について、スポーツファーマシストからはアンチ・ドーピングについて、それぞれ専門的な指導を受けました。

参加した選手は、各測定に積極的に取り組むとともに、専門的なアドバイスをしっかりと聞き入れることで、自分の身体の特徴や補強すべき部分などを知ることができました。このメディカルチェックの結果を今後のトレーニングに活用し、効果的な練習ができるよう取り組んでほしいと思います。

後期は平成31年2~3月に実施の予定です。



「トップコーチ養成事業」基礎研修・課題解決研修

●「トップコーチ養成事業」基礎研修

「トップコーチ養成事業」基礎研修が6月19日(火)ふくしま中町会館にて開催しました。

講師に日本スポーツ振興センターの勝田隆氏をお招きして、「スポーツが教えてくれたこと~指導者の視点から~」を演題に、今年度指定されたトップコーチを対象に研修会を行いました。



●課題解決研修

11月16日(金)杉妻会館において、課題解決研修兼福島県体育協会指導者研修会を開催しました。研修会には、指定を受けたトップコーチの他に、県内で活躍されている指導者を含む44名が参加しました。講師として、朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科教授、福島大学名誉教授でもある白石豊氏をお招きし、「コーチングの課題解決を考える」と題して講義していただき、後半には質疑応答形式で指導者の課題等へのアドバイスをいただきました。



どちらの研修会も、トップコーチの一人一人が「ふくしまから世界へ!」を実現するための知識を得ようと、真剣に研修に取り組んでいました。

総括研修は、平成31年2月25日(月)を予定しています。

## 平成30年度(公財)福島県体育協会認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会

(公財)福島県体育協会スポーツ栄養士部会では、平成28年度から養成講習会を2回開催してきましたが、今年度はスキルアップ講習会を初めて開催しました。この講習会は、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師、スポーツ愛好者、競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートを担当する県体協認定スポーツ栄養士のスキルの向上を図ることを目的としています。県内各地から認定スポーツ栄養士15名が参加しました。

開催日 7月8日(日) 会場 福島県青少年会館

7月8日

- 1 スポーツ選手のサプリメントの使用について  
鍛治内大輔氏(福島県薬剤師会)
- 2 スポーツ栄養士に期待すること  
鈴木 清文氏(福島北高等学校)
- 3 栄養マネジメントの実際  
山崎有理子氏(公立藤田総合病院)
- 4 競技別栄養サポート  
佐久間 茜氏(公立藤田総合病院)



この講習会は専門科目の集合講習となり、スポーツ栄養士としての資質を向上させるために、県薬剤師会所属のスポーツファーマシストや県体協スポーツ医・科学委員、日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の方々をお招きし、講義や演習をしていただきました。

午前は、スポーツファーマシストやコーチまたは指導者の立場から、スポーツ選手とスポーツ栄養士の関わり方について、テーマに基づき具体例を挙げながら、わかりやすく講義をしていただきました。

午後は、日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の2人の先生に、栄養に関するそれぞれのテーマをもとに指導をしていただきました。グループ活動では、お互いの意見や情報を積極的に交換しながら、課題を解決していきました。講師の先生方には、それぞれのグループごとにも具体的なアドバイスをいただきました。

受講者はどの講座にも熱心に取り組み、スキルの向上を図ることができました。今後、県体協認定栄養士の皆様には、それぞれの現場で活躍と日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士の取得に向け、さらにスキルアップされることを期待します。

## 平成30年度(公財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

この講習会は、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する県体協認定アスレティックトレーナーを養成することを目的として、隔年ごとに開催しています。本協会加盟競技団体等から推薦があり、スポーツ医・科学委員会が承認した13名が県内各地から参加しました。

開催日 11月17日(土)・18日(日) 会場 福島県青少年会館

- 11月17日
- 1 アスレティックトレーナーの役割  
堀川 哲男氏(公立藤田総合病院)
  - 2 アスリート女性の特性  
野口まゆみ氏(西口クリニック婦人科)
  - 3 スポーツと栄養  
佐久間 茜氏(公立藤田総合病院)
  - 4 予防とコンディショニングⅠ  
小林 光幸氏(ラソックス鍼灸整骨院)
  - 5 スポーツ外傷・障害の基礎知識  
吉田 仁郎氏(ARCクリニック)

- 11月18日
- 6 検査・測定と評価  
渡邊 和之氏(福島県立医科大学)
  - 7 アンチ・ドーピング  
佐藤 善嗣氏(福島県薬剤師会)
  - 8 スポーツ心理学  
中澤 謙氏(会津大学文化研究センター)
  - 9 予防とコンディショニングⅡ  
鬼澤 武則氏(おにざわ接骨院)
  - 10 スポーツ障害(内科的障害)  
水野 兼志氏(みずの内科クリニック)



この講習会は専門科目の集合講習となり、アスレティックトレーナーに必要な基礎的な知識を身に付けるために2日間で、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・スポーツドクター・スポーツ栄養士、県薬剤師会所属のスポーツファーマシスト、県体協スポーツ医・科学委員の10名の講師の先生方に様々な角度から講義をしていただきました。受講者は真剣に講義を聞き、積極的に質問したり実技に取り組んだりしました。

今年度受講された13名は、平成31年3月のアスレティックトレーナー部会にて認定予定となっており、今後福島県アスレティックトレーナー部会の活動や研修会を通して、競技力向上や生涯スポーツの振興に努めていただきたいと思います。

ふくしま広域スポーツセンター  
地域スポーツ活動に関わる人材育成セミナー

# 公認アシスタントマネジャー養成講習会

平成30年度ふくしま広域スポーツセンター公認アシスタントマネジャー養成講習会を、6月17日(日)と7月1日(日)の両日にわたり、福島市男女共同参画センター「ウイズ・もとまち」にて実施しました。県内各地から、総合型地域スポーツクラブに携わっている方、設立に向けて準備に携わっている方、市町村の生涯スポーツ担当者、スポーツクラブに興味のある方等、14名の参加があり、受講者は熱心に講師の先生の話に耳を傾けていました。グループワークでは、積極的に意見交換を行い互いの交流を深めるとともに、コミュニケーションスキルの向上を図っていました。

## 第1回

6月17日(日)

### 1 「地域スポーツクラブとは」「地域スポーツクラブの現状」

講師 ふくしま広域スポーツセンター プロジェクトマネジャー 菅野 裕氏

### 2 「クラブのつくり方」「クラブの運営」

講師 NPO法人スポーツコミュニケーション・かくだ 遠藤 良則氏

### 3 クラブマネジャー講話

講師 NPO法人はらまちクラブ 赤石澤 啓雅氏



菅野裕氏による講義・ワーク



遠藤良則氏による講義



赤石澤啓雅氏による講話

## 第2回

7月1日(日)

### 4 「法人格の取得」

講師 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 梁取 勝人氏

### 5 「クラブマネジャー講話」

講師 NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF 菊地 正氏

### 6 「クラブマネジャーの役割」

講師 早稲田大学スポーツビジネス研究所 松澤 淳子氏



梁取勝人氏による講義



菊地正氏による講話



松澤淳子氏による講義・ワーク



修了証交付



集合写真

今年度は13名の方が受講し、全員が修了されました。本県におけるセミナー修了者は、累計520名になりました。

各種団体  
連携事業

# 地域の高齢者の体力維持・介護予防に関する連携

今年度の各種団体連携事業は、高齢者の体力維持・介護予防運動の機会や場の提供に関する連携をテーマに、二本松市の地域包括支援センターと事業を展開しています。

二本松市にある5つの総合型地域スポーツクラブ(以下クラブ)と6つの地域包括支援センター(以下センター)が連携し、それぞれの地区で活動しています。連携先(センター名)と担当地区は以下の通りです。

クラブ名	連携先(センター名)	担当地区
(一社)いわしろふれあいスポーツクラブ	岩代地域包括支援センター	岩代地区
東和さわやかスポーツクラブ	東和地域包括支援センター	東和地区
あだちスポーツクラブ	安達地域包括支援センター	安達地区
(一社)にほんまつ城山クラブ	第1地域包括支援センター 第2地域包括支援センター	二本松第一中学校区 二本松第二中学校区
岳クラブ	第3地域包括支援センター	二本松第三中学校区

この事業の連携の方法は、以下の2通りです。

- 1 センターの活動場所にクラブのスタッフが指導者として派遣される場合
- 2 クラブの教室に、センターの利用者が参加する場合

1の場合は、センターの利用者が集まっているところにクラブのスタッフが出向くので、クラブとしては利用者を集める業務が軽減され、センターとしては利用者の移動がなく手軽にサービスを提供できます。

2の場合は、クラブとしては新規会員の獲得や自クラブの認知度向上が期待され、センターとしては多様なサービス提供につながっています。

この各種団体連携事業では、以下の効果を期待しています。

## 1 総合型地域スポーツクラブや指導者への効果

- 運動を継続的に行うことでの会員・地域高齢者の体力維持や運動への意識向上
- 運動をすることへのニーズの高まり(総合型クラブへの興味・関心の向上)
- 総合型地域スポーツクラブの認知度向上
- 新たな会員の獲得(自費で継続参加、別プログラムへの参加)
- 行政からの事業受託

## 2 地域包括支援センターへの効果

- 総合型地域スポーツクラブとの新たな連携による事業の充実
- より多くの高齢者へのサービス提供
- 総合型スポーツクラブスタッフを通じた、地域の高齢者の状況把握
- 運動・スポーツ実施者の側に立った新たなプログラムの開発

この事業を機に、多くの総合型地域スポーツクラブで地域包括支援センターとの連携が図られて、多くの高齢者の方々がますます健康で運動に親しむことを願っています。



運動の効果を診るための体力テスト



ボールを使った軽運動



「まんまるカフェ」に出向いての運動指導



二本松版いきいき百歳体操



市職員による介護保険講話



カローリングを楽しむ参加者

『小手姫伝説・川俣シルク・川俣シャモ』みどりの中に光る川俣町!

# NPO法人かわまたスポーツクラブ



NPO法人かわまたスポーツクラブは、平成21年に任意団体『かわまたスポーツクラブ』として設立し、事業を拡大しつつ、平成27年にNPO法人格を取得し、『NPO法人かわまたスポーツクラブ』となりました。

東日本大震災により、町の一部が避難指示区域となり、一時活動を自粛した時期もありましたが、現在は避難指示も解除となり、復興に向け活動しております。

NPO法人かわまたスポーツクラブでは、スポーツ吹矢・グラウンドゴルフ・卓球・ノルディックウォーキングなど高齢者向けの教室・サークル活動から山木屋太鼓と協力し小学生向けの太鼓教室、親子で楽しめるスポーツ教室など幅広い世代に向けた事業を展開しています。

今後は世代を超えた教室・イベントを展開し、町全体が盛り上がるよう活動していきたいと思っております。



問合せ

## NPO法人かわまたスポーツクラブ事務局

〒960-1405 伊達郡川俣町大字東福沢字万所内山2-3 川俣町体育館内

TEL 080-6056-1777 E-mail kawamata\_sc@yahoo.co.jp

営業時間：月曜～金曜 AM8:30～PM5:30 (祝日除く)



# 日米対抗ソフトボール2018& ソフトボール女子TOP日本代表強化合宿

**開催日** 日米対抗ソフトボール2018:6月23日(土)  
ソフトボール女子TOP日本代表強化合宿:6月24日(日)~27日(水)

**会場** 県営あづま球場

2020年東京オリンピックで野球・ソフトボール競技が行われる「福島県営あづま球場」において「日米対抗ソフトボール2018」の第3戦が開催され、ソフトボール界を牽引する日本とアメリカのTOP代表の熱戦に、県内外から詰めかけた7000人を超える観衆が魅了されました。当日は、ボランティアによる会場運営やシャトルバスの案内など、本番に向けた課題の把握とともに、試合に先立っては、内堀知事から日米両チームに、ユニフォーム柄に絵付けした白河だるまを贈呈するなど、県産品のPRも行われました。

また、大会の翌日からは、同球場でソフトボール女子TOP日本代表の第2次国内強化合宿が行われました。この間、オール福島で選手の皆さんを歓迎し、県産品を使った食事や名湯・土湯温泉で存分に福島を堪能していただくとともに、選手の皆さんとの交流を通じて、子供たちに夢や希望、元気を与えていただきました。

本県での合宿を終えた日本代表は、その後の世界選手権で準優勝、続くアジア大会では5大会連続での優勝を飾るなど、東京2020大会での金メダル獲得が期待されます。



試合前セレモニー(県産品贈呈)



日米対抗ソフトボール2018



7000人を超える観衆



ボールパークピクニック!



学校訪問(佐原小学校)



ソフトボール女子TOP日本代表合宿

# 東京2020オリンピック・パラリンピック 復興ふくしま推進会議&ふくしま大交流ミーティング

**開催日** 7月24日(火) **会場** ホテル福島グリーンパレス

東京オリンピック・パラリンピックの開幕まで2年となった7月24日(火)に、県内の市町村やスポーツ、文化団体を始め、商工、観光、農林水産、教育関係などの関係144団体で構成される「東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議」が開催され、昨年度の官民連携による取り組み事例を紹介するとともに、福島大学の学生団体「わだち」がオリンピック・パラリンピックの開催機運を高めるために取り組んだレガシー創出の事例発表が行われました。

また、会議に引き続いて開催された「ふくしま大交流ミーティング」では、本県で開催される野球・ソフトボール競技の日本代表、稲葉篤紀、宇津木麗華両監督をお招きし、「世界と戦うトップアスリートを目指して」をテーマに、内堀知事を交えたパネルディスカッションが行われ、子供たちを始め、多くの県民の皆さんが参加されました。福島での競技開催に向けて、宇津木監督からは「2020年のオリンピックで一番乗りになる試合が行われる福島で、みなさんと一緒になって戦っていききたい」、稲葉監督からは「野球で皆さんに勇気を与えられるよう頑張っていきたい」と意気込みが語られ、2年を切った東京2020大会に向けて、県内の開催機運はますます高まってきました。



復興ふくしま推進会議会長である内堀知事の開会あいさつ



事務局から、昨年度の大交流プロジェクトの取り組み事例を紹介



「学生が福島にレガシーを残すためにできること」と題し、福島大学「わだち」による事例発表



内堀知事、宇津木ソフト日本代表監督、稲葉野球日本代表監督によるパネルディスカッション



宇津木、稲葉両監督から来場した子供たちにサインボールのプレゼント



子供たちと出演者による2年前ポーズでのフォトセッションで県内開催をPR

# (公財) 福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

## 法人・団体 特別会員

会津商工信用組合 会津漆器調製(株) (株)アラジン (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーションネットワーク福島 エクセルソリー(株) (株)エフエム福島 (株)岡部 (株)オノヤスポーツ 加藤建材工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)グリーンテック (株)グレイス福島	(医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場 (公財)仁泉会 (株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) 相馬秩父生コン(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス	東邦情報システム(株) 東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株) 東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	福島商事(株) (株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福島リコビー(株) 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)モリヨシ技研 山本工業(株) (株)ヨークベニマル (株)ラジオ福島 若松測量設計(株) ※他に匿名希望 2法人・団体
---	--	--	--

## 法人・団体 会員

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アプロガス あんしんFPふおあさいと (株)安藤組 入三機材(株) 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内地醸造(株) (株)エアコレクト (株)海老名建設 FSGカレッジリーグ (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ	(株)グラコム (株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)セルラー電話サービス福島 (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウェア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会	(株)東北装美 東北電力(株)福島電力センター (株)中里工務店 いにどの運送(有) 西会津工業会 (株)日産サティオ福島 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 (有)野地建設 原町港運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポートランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 (株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン	富士ゼロックス福島(株) (公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)丸九織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディアネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) 山友愛 (株)Regrit Partners (株)ル・プロジェ 六陽印刷(株) ワイチーエル(株) ワタナベカーベット(株) ※他に匿名希望 6法人・団体
--	--	---	--

## 個人 特別会員

壱 岐 ひろみ 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏 山 本 和 子 菊 池 信 太 郎

## 個人 会員

阿 部 正 美 安 藤 喜 勝 五十嵐 義 砂子田 敦博 石 田 洵 伊 藤 隆 司 鶴 沼 秀 雄 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 野 日出喜 木 村 喜八郎 国 井 裕 一 小 杉 誠 小 松 信 之 小 山 太 郎 齋 藤 久 男	坂 本 孝 夫 佐 久 間 光 弘 櫻 井 和 次 佐 藤 十 朗 佐 藤 傳 一 佐 藤 祝 男 佐 藤 弘 樹 佐 藤 昌 志	宍 戸 正 幸 篠 野 敏 照 下 山 田 好 宏 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀 子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博 富 田 孝 志	永 井 祥 一 永 井 隆 太 郎 長 崎 博 典 中 島 茂 典 新 井 田 大 花 井 宣 明 花 井 安 紀 平 石 家 治 廣 瀬 敬 彦	深 谷 秀 三 福 本 隆 里 星 香 薫 星 本 文 堀 田 満 堀 川 哲 男 松 井 遵 一 郎 松 本 裕 治	水 戸 眞 由 子 戸 俊 由 子 森 崎 勝 夫 結 沢 修 志 米 沢 修 志 渡 邊 正 仁 渡 辺 正 吉 ※他に匿名希望 3名
--	---	--	--	---	--	---

(平成30年10月26日現在) (敬称略)

### 賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からの御支援により本県スポーツの推進を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。

皆様におかれましては、趣旨を御理解のうえ、賛助会員として御入会いただき、本県スポーツの推進の一層の御支援を賜りますようお願いいたします。

### 賛助会費 (年会費)

○個人賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)

○法人・団体賛助会員  
1口 10,000円(1口以上何口でも可)

※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。  
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

### 編集後記

第73回国民体育大会では、レスリングで優勝、その他の種目でも多数の入賞を果たすなど、福島県選手団の気迫あふれる戦いが随所に見られ、福島県の元気を全国に向けて発信してくれました。生涯スポーツ分野では「あそんで体力アップアップ事業」の規模を拡大し、未来を担う子供たちが遊びながら運動能力を向上させるとともに、指導者には効果的な指導法を学ぶ機会を数多く提供することができました。

本協会では、今年度よりホームページをリニューアルし、アクセス数も大きく増加しました。今後も県民の皆様には、様々なスポーツ情報を提供できるよう、より一層の努力をして参ります。どうぞ、お楽しみに!!

問合せ

公益財団法人 福島県体育協会 電話024(521)7896  
〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 FAX024(521)7971  
<https://www.sports-fukushima.or.jp> E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

# スポーツ安全保険®

**対象となる事故**

団体活動中の事故/往復中の事故



**保険期間**

平成30年4月1日午前0時から  
平成31年3月31日午後12時まで

**加入区分・掛金・補償額**

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を 含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) <small>※特別支援学校 高等部の生徒 を含む</small>	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段:団体活動中およびその往復中の補償額 下段:上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	葬祭費用 180万円
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成30年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団員への送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 福島県支部** 〒960-8065 福島市杉妻町5-75  
福島県庁東分庁舎3号館



TEL **024-526-4600** 電話受付時間 午前9時~12時 午後1時~5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。  
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉  
東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室  
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)  
〈共同引受保険会社(平成30年4月予定)〉  
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜  
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保